

令和2年度ユース・コミュニティづくり応援業務についての質疑・回答

番号	質問内容	回答
仕様書「3 委託内容」に関する質問		
1	事業実施期間中に活動拠点の移転を検討中であるが、移転後も事業の継続を認められるのか。	実施地域内であれば、移転は可能ですが、移転を含め、提案いただいた内容を変更される場合は本府へ協議してください。変更契約を経た上で、事業は継続していただきます。提案書提出時に移転時期・場所等が確定しているのであれば、「特徴」を記載する欄に移転後の活動拠点の情報を記載願います。(移転時期、所在地、建物の構造等)
2	「支援対象者の状況に応じ訪問支援により対応することも可能」とあるが、出張活動拠点を設定せずに、アウトリーチ的な訪問支援を前提とする計画でも可か。	本拠地以外の地域に出張活動拠点を1箇所設置してください。ただし、活動拠点での居場所活動が困難になった場合は本府へ協議してください。
仕様書「4 実施体制」に関する質問		
3	スタッフ配置はどのように想定されているか。	相談業務1名、学習支援については参加者2、3名につき1名のスタッフ配置を想定しています。
4	コーディネーター、スタッフのうち、『非行等の課題を抱える少年の支援実績を有する者を配置』とあるが、少年院更生プログラムで指導している者でも可能か。可能な場合、具体的な施設名等の記載は不要でよいか。	非行の課題を抱える少年支援実績を有し、少年及び保護者からの悩み相談対応及び適切な支援機関との連携等の実績がある方であれば、所属は問いません。経験を積まれた具体的な施設名の記載は必要ありません。
仕様書「6 居場所開所日数及び想定される1回当たりの参加者数」に関する質問		
5	想定される参加者数が記載されているが、それぞれ定員が定められているのか。また、定員がある場合、定員を超えた場合の参加者の選定方法はどのようにすればいいのか。	仕様書に記載の人数は想定参加者数であり、定員は特に定めていません。ただし、想定人数以上の参加希望があり、対応に苦慮される場合は本府に協議してください。
6	訪問支援など、居場所開所以外の支援の回数につきまして、目安となる回数等はあるのか。	居場所、訪問支援を含めて仕様書6に提示の日数については業務を行ってください。ただし、訪問支援の場合は参加者が1名であることが見込まれるため、回数を増やしていただくことをお願いすることもあります。
仕様書「9 業務上の留意事項」に関する質問		
7	保険加入が必要とのことだが、保険適用範囲は参加者の行き帰りも含めるか。	居場所での活動中は必須ですが、通所経路上は必須ではありません。
募集要領「6 応募書類」に関する質問		
8	企画提案書は記載する項目や様式が盛り込まれていれば、パワーポイントでの作成は可能か。また枚数制限や図の使用規定があるか。(枚数制限がある場合、表紙も枚数に含まれるか否か)	パワーポイントでの作成も可能です。枚数の制限及び図の使用規定はありませんが、提出いただきました企画提案書を必要部数印刷(白黒)し、ヒアリングを行いますので、それを踏まえた枚数、図の使用を行ってください。
9	企画提案書の提出は何部になるか。また、正本・副本の仕分けが必要な場合は、それぞれの内訳部数と、副本の提案者名のマスキングは必要か。	正本1部の提出をお願いします。副本は不要です。よって提案者名のマスキングも不要です。
10	前年度採択者の資料等を参考にできるかどうか(参考にできる場合、過去3年分ぐらいの企画提案書と業務完了報告書)。また、予算の配分はどのようにされているか。	提案内容を前年度採択者の資料を提供することはできません。予算の配分としては全体の6割程度を賃金・旅費・報償費に配分しています。サテライトについては公共施設の貸し部屋を利用する等常設ではなくても構いません。
業務全般に関する質問		
11	別の助成金と重複して事業を行ってもいいのか。	重複は出来ません。もし別の助成金と事業を行う場合は対象者、対象日、事業内容を別にする等明確に区分けしてください。
12	昨年度及び今年度の同事業における、現時点での成果や課題についてご教示願いたい。	居場所での活動を通して、学習意欲の向上や精神的な安定、将来について考える姿が見られるようになり、非行・再非行の防止に繋がっています。ただし、平成31年度については北部地域での居場所の設置が出来ませんでした。
13	昨年度ならびに今年度の同事業における、現時点での実施回数、登録人数ならびに参加人数、出席率、受託事業者についてご教示願いたい。	平成31年度の受託者は京都市・乙訓地域:乙訓少年支援の会「ひまわり」、山城地域:京都南部少年少女自立支援の会「青空」です。平成30年度の実績は下記のとおりです。なお、来年度の実施地域は平成30・31年度と一部異なりますので注意願います。

平成30年度実績

地域	京都市・乙訓	山城	丹後・中丹・南丹
委託先	乙訓少年支援の会「ひまわり」	京都南部少年少女自立支援の会「青空」	あやべ少年・少女自立支援の会「くわのみ」
実績	延べ336回 1,325人	延べ254回 537人	延べ316回 330人